



平成 25 年 3 月 19 日

各 位

会 社 名 三菱瓦斯化学株式会社
代表者名 取締役社長 酒井 和夫
(コード番号:4182 東証第一部)
問合せ先 広報IR部長 北川 元康
(Tel: 03-3283-5041)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 3 月期において、メタキシレン(MX)、高純度イソフタル酸(PIA)事業の構造改革に伴う特別損失を計上することを決定し、併せて 2 月 5 日に発表した平成 25 年 3 月期通期業績予想を修正致しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. MX、PIA事業の構造改革に伴う特別損失の計上

PIAは、円高基調の長期化、競合メーカーの増設による需給悪化などにより厳しい事業環境が継続して参りました。中期経営計画「MGC Will2014」の基本方針(「不採算事業の構造改革」)に基づき収益改善に取り組んで参りましたが、将来にわたり事業環境の改善が見込めないことから、平成 25 年 11 月を目途に連結子会社エイ・ジイ・インタナショナル・ケミカル株式会社(AGIC社)愛媛県松山工場でのPIA生産を停止し、関連生産設備を撤去、更地化することを決定致しました。これに伴い、同社ではPIA生産設備の残存簿価の減損損失、設備撤去、更地化費用等を平成 25 年3月末で特別損失に計上致します。

また、当社は、AGIC社株式の評価損を計上するとともに、同社が保有するPIA原料のMX製造設備を当社に移管し回収可能額まで減損するほか、松山工場の設備撤去、更地化完了後に同社を清算することを前提に会社整理損失を引当て計上致します。

今回の決定により、すでに発表しているコエンザイムQ10事業撤退損失などを含め、事業構造改善費用として 150 億円(個別業績では 180 億円)の特別損失を平成 25 年3月期において計上する見込みです。

なお、今後採算確保が見込めるAGIC社水島工場(岡山県)で生産するPIA事業は、当社に移管して継続して参ります。

2. 連結業績予想の修正

平成 25 年 3 月期 通期 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 470,000	百万円 10,000	百万円 24,000	百万円 5,000	円 銭 11.07
今回発表予想 (B)	470,000	10,000	26,000	△10,000	△22.14
増減額 (B - A)	—	—	2,000	△15,000	—
増減率 (%)	—	—	8.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	452,217	9,083	26,116	12,327	27.28

(参考) 個別業績予想の修正
平成 25 年 3 月期 通期 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 370,000	百万円 5,000	百万円 23,000	百万円 5,000	円 銭 11.07
今回発表予想 (B)	370,000	6,000	25,000	△10,000	△22.14
増減額 (B - A)	—	1,000	2,000	△15,000	—
増減率 (%)	—	20.0	8.7	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	349,892	△882	18,126	7,390	16.36

修正の理由

事業構造改善費用の計上及び今後の業績見通しに基づき、繰延税金資産の回収可能性を検討し、繰延税金資産の取崩しを行うこととした結果、平成 25 年 3 月期の当期純損益については前回発表予想を下回り、純損失を計上する見込みとなったため、通期業績予想を修正致します。今回の業績予想の前提となる為替レートは、未経過月を1米ドル 90 円、1ユーロ 120 円に見直しております。

なお、1株当たり6円とした期末配当金予想には、変更ありません。

以 上

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。